



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『子よ、あなたの罪は赦される』

聖書(マルコ福音書2章5節)

牧師 河合裕志

イエスがガリラヤ湖畔の町カファルナウムに伝道旅行から帰って来てペトロの家に身を落着けた時、イエス帰る、との情報が町中を駆け巡った。それとばかりに大勢の人達が詰めかけ家の内も外も身動きが出来ない程に。彼らは熱心にイエスの口よりこぼれる話に耳を傾けた。

そこへ四人の男が床に中風の人を乗せて運んできた。脳出血により体の自由が奪われてしまったこの人を、かねて気の毒に思っていた友人が、申し合わせてイエスの所へと運搬。大きな力を持ったイエスならこの病人をいやしてもらえると堅く信じて。

しかし残念！ ひと足遅かった。

とても家の中に運び入れるなんて不可能な状況。そこで彼らはあきらめたか。あきらめなかった。この機会を逃すと今度いつイエスが戻って来るかわからない。思いのあるところに方法ありで、彼らの一人がロープを持って来た。そして家の外側についている階段により病人を平らな屋根の上に運ぶ。そしてイエスが居る辺りの屋根をはがして穴をあけ、病人の寝ている床をロープでしばってソロソロとつり降ろす。

これは乱暴な！ と思われるかも。

しかしかの地における屋根は簡単な作り、これをはがすことは容易なこと。それにし

てもこの方法は尋常ではない。彼らは非常手段に訴えてでも病人をいやして欲しかった。

ポツカリ開いた穴から陽が射し込んで来る。丁度うんまい具合に病人の床はイエスの真ん前に到着。四人の男はイエス様、どうぞよろしく、といった面持ち。「イエスはその人たちの信仰を見て」中風の人に『子よ、あなたの罪は赦される』と宣言。

ここで印象深いのは「その人たちの信仰を見て」というところ。必ずしも当人が信仰を持っていなくてもイエスは周りの人の信仰を注目し、そのことの故に当人に大きな祝福を与える。

ここでは「罪の赦し」という最大級の祝福を。でも罪の赦しなど本来神以外の誰も与えることの出来ないもの。神の専売特許。イエスをただの人間と見ればこれは越権行為。しかしイエスは人間となった神だからこれは可能なことに。

このあとイエスは自分が罪を赦す権威を持っていることを知らせよう、と言って病人をいやし立ち上がらせている。この奇蹟から知って欲しいと。罪人(つみびと)を招き赦しを与えるイエスのもとに馳せ参じられれば幸い。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

主日夕拝 : 毎日曜日午後6時

子どもの教会 : 毎日曜日午前9時

中高青年会 : 毎日曜日礼拝後

おしゃべり会 : 毎木曜日午前10時

聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時